山弓連

第5号

平成1.1.18

平成元年 初射会

新しい年、平成元年が始まった日の一月八日初射会が行われた。黒の喪章をつけた国旗に拝礼した後、会長の先唱で礼記射義を全員で朗唱。引続き、世光寺名誉会長の巻藁射礼、中央会長の矢渡しをして、今年の出発をした。

つづいて、各自四ツ矢の競技により、一位～五位の入賞者を決定した。

ことし初の入賞者は次の通りで、「平成元年第一日目に行われた射会の第一位」という記念すべき賞状は塩島健二さんが獲得した。

一位 塩島健二（西八）
二位 横谷三男（東八）
三位 小尾幸夫（北巨）
四位 降矢弘二（東八）
五位 小林哲雄（北巨）

賞状

第一位 塩島健二

本連盟主催初射会に於いて優秀な成績をおさめましたのでここにその栄光をたたえてこれを賞します

平成元年一月八日

山梨県弓道連盟
会長 中沢利正

小宮山が2位

三十三間堂弓道

弓道の三十三間堂大的全国大会は十五日、京都・三十三間堂で行われ、成人女子の部で小宮山かおり（山梨県連盟）が2位に入賞した。

▽成人男子の部 ①田中信久（京大）②東（和歌山市弓道連盟）③黒田（甲南大）
▽同女子の部 ①森本光子（平安弓友会）②小宮山かおり（山梨県連盟）③長瀬（中京女大）

一月十五日、成人の日に行われた全国成人者遠的大会で、みごと二位に入賞・小宮山さんは元国体選手で、目下、川崎市でコンピューター関係の学校で勉強中。おめでとう。

1月16日付の……山梨日日新聞の記事

納射会 中央審査昇段者の披露・祝賀も

12月11日の納射会は、一年間の中央審査昇段昇格者祝賀射会をかねておこなわれた。

まず開会式で、この一年間の昇段昇格者の披露が行われ、会長から記念品（「射者仁道」の文字が書かれた白扇）が贈られ、ついで、各地区代表五名が全会員の祝意を代表して祝射を行った。代表は次の通り。（甲府）秋山照美教士、（峡南）畑川皓教士（峡中峡北）深沢武重錬士、（峡東）標衣枝錬士（郡内）田中守正教士

引続き、昇段者の答射礼が行われた。

・五人持的射礼
宮崎貞行六段 小尾幸夫錬士
宮下貞雄錬士 佐藤真佐美錬士
滝沢忠錬士（小林永正錬士は所用のため当日欠席）

・三人一ツ的射礼
上条皎七段 河西伊三男教士
古屋達男六段

祝射も答射も、いずれも「発展しつつある山梨」にふさわしいみごとな射で、参加者全員、万雷の拍手をおくった。

つづいて、一年をしめくくる納射会は、参加者全員四ツ矢で勝負を争った。結果は次の通り、

一位 横谷三男（東八）
二位 高野光幸（東山）
三位 望月喜造（西八）
四位 萩原英輝（　）
五位 標 衣枝（東山）

・1年のしめくくりは副会長の優勝で幕。メデタシ

山日YBS杯弓道大会 11月23日

・称号者の部
一位 深沢武重（中巨）
二位 佐藤真佐美（西八）
三位 塚越朝太郎（東八）
（「元国体選手」「新錬士」「八〇才の大ベテラン」と個性溢れる入賞）

・有段者の部
一位 塩島健二（西八）
二位 永井秀太郎（南巨）
三位 立川不二子（甲府）
四位 岩柳一誠（東八）
五位 五味昌仁（北巨）
（女子選手が堂々三位に入賞。アッパレ!!）

連載 山弓連の歴史を創ってきた人々 No.4

丸山宇太郎氏（顧問）

八年前のびわ湖国体の時、「七〇才の国体選手」ということで、全国にその名をとどろかせた。当時報道関係者の取材が殺到して練習も自由には出来ない程だったとか。この七〇才という新記録はその後も破られていないが、ご本人は「七〇才ぐらいで驚くことはない。やる気なら八〇才でも八五才でも選手になれる。われわれの若い頃は、20本や30本、はずす事はなかった。この頃の若い者は……」と、益々意気さかん。

この元気さを後輩われわれも、おおいに学ぶ必要がある。

弓をはじめたのは、昭和十三年ごろ。山弓連初代会長の金井徳重先生からきびしい指導をうけた。戦後の山弓連再建にも参加して活躍し、その後トントン拍子に昇段して現在教士六段。しかも、教士も六段も一発で合格したという超優等生。勿論、国体や全日本大会などにも数多く出場し、まさに山弓連の歴史を創ってきた人というにふさわしい。

今も勝沼で葡萄をつくりながら「若い者には負けない」と弓を引いている。願わくは後輩どもにこの気力を伝授あらんことを。

高校生リーダー研修会 一月四・五日

山梨の高校弓道は、このところ目ざましい活躍がつづいている。国体でも、かいじ国体女子遠的準優勝、海邦国体女子遠的優勝というぐあいだし、関東大会でも男子が62年秋国母高、63年春機山工、63年秋機山工と団体三連覇している。

この力を更に伸ばしていこうという目的で、昨年から、この研修会を実施しているが、ことしも正月早々各高校から五〇名の生徒を集めてみっちり特訓を行った。講師は高校の顧問の先生五名。

体配・射技の基本から、試合形式の練習まで休む時間も惜しんで特訓した結果、見ちがえる程の上達ぶり。若い人たちの進歩は実にはやい。今年行われる各大会の成績にもおおいに期待がもてると思うとともに、これらのりっぱな若者たちが我々の後継者として存在することを目のあたりに見て非常に心強く思った。

高校卒業生名簿⑧

＝各市町村に配ります

右のような我々の後継者候補が、ことしも二〇〇人ほど高校を卒業します。そのうち、県外に進学・就職する者もいますが、半分以上は県内に残る模様です。いま、各高校に依頼して、弓道部員卒業生名簿を作成しているので、それが出来次第、各市町村に配りますから活用して下さい。そして、「候補」から「実質的後継者」にまで育てて下さい。よろしくお願いします。

支部だより

◎一宮町県下弓道大会

十一月三日文化の日、全県各地から多数の参加を得、盛大に行うことが出来ました。受賞者次の通り。

一、町長賞 樋田幸次
一、議長賞 小宮山庄甫
一、教育長賞 斉藤美隆
一、体協会長賞 丸山宇太郎
一、農協会長賞 功刀操
一、支部長賞 岩柳一誠

◎スミセイ健康財団賞受賞

＝鰍沢おおぼし弓道クラブ

昨年の暮れに、住友生命健康財団から表彰されました。「長年月にわたって町民の健康増進に貢献した」という内容でした。副賞としてビデオ撮影機を頂いたので、これから、会員の射癖矯正などに役立てていきたいと思っています。今後ともご指導ご支援を。

事務局から

◎一月八日の初射会で第五号を配るつもりで「オメデトウ号」を印刷したら「オメデトウ」が使えなくなって急拠作り直し。それで遅れてしまいました。すみません。

◎三月までの予定は次の通りです。ご協力をお願いします。

・一月二二日 理事会と臨時総会で規約改正
・二、二六 執行部会で総会議案作成
・三、六 支部行事報告〆切り
・三、一二 総会準備
・三、二六 定期総会

◎北巨支部の桜田道男氏（双葉）60才の若さで逝去。つつしんでお悔み申し上げます。